



広報

いせん

No.296

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 企画課

〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 1842

TEL 0997(86)3111 FAX 0997(86)2301

2012年(平成24年)1月号

URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

喜念浜からの「日の出」



本年は伊仙町町制施行50周年という記念すべき節目の年を迎えました。「共に創ろう躍進する輝く伊仙町」をスローガンに、全町民が一丸となって、町勢が更に発展するよう魅力あるまちづくりを目指します。

今月の主な内容

- 新年のあいさつ
- 町民文化祭
- 産業祭
- 町内駅伝競走大会
- 第4回徳之島長寿世界一
・子宝日本一の里ウォーキング大会

主な行事予定

- | | |
|---------|------------|
| ○消防出初め式 | (1月 4日) |
| ○成人式 | (1月 5日) |
| ○クリーン作戦 | (2月 19日) |
| ○中学校卒業式 | (3月 13日予定) |
| ○小学校卒業式 | (3月 22日) |

新年のごあいさつ

伊仙町長
大久保 明

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり町民の皆様と共に輝かしい新春を健やかに迎えられました事をお慶び申し上げます。さて、伊仙町では昭和37年1月1日伊仙村から伊仙町へ町制が変わり、本年は伊仙町町制施行50周年という記念すべき節目の年を迎えたところであります。

昨年は、宮城県牡鹿半島沖を震源として発生した東北方太平洋沖地震（日本における観測史上最大規模）がまだ記憶に新しいところでございます。死亡・行方不明者が一万九千人余り、被害額も16兆・25兆円と推定され過去に類を見ない劇的な被災状況であります。ここに改めて亡くなられた方々の御冥福と被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

奄美地方では異常気象が続き、つい最近、徳之島町轟木集落で起きた竜巻など、たび重なる集中豪雨や季節はずれの台風襲来で農作物にも深刻な影響を受け、基幹作物のさとうきびは大幅な減収が見込まれています。このように自然災害の恐ろしさがいつとなく迫っています。

一方、国際経済に目を転じますと、TPP（環太平洋経済連携協定）問題が浮上。現政権はこれに参加す

る意向を表明、賛否両論はありますが、さとうきびや畜産には大打撃を受けるということでTPP参加反対島民総決起大会を開催、昨年末軍普天間基地移設徳之島案がマスコミ等を通じて報道され、島民が一致団結し、一万五千人集会を開くなど一丸となつて反対運動を展開したことを思い起こし、徳之島三ヶ町が強い意志をもち、断固反対を貫き、子々孫々未来の子どもの達のため、この島を守って行くのが我々に課せられた使命でもあります。

「共に創ろう躍進する輝く伊仙町」をスローガンに100項目のマニフェストを政策の目標に掲げ、町民総親和・住民参加型の町政を模索、その着実な実践に向け、全力で取り組んでいきます。過去に長寿世界一を2人輩出し、子宝日本一の栄誉を合わせ持つ「健康・長寿子宝の町、人情豊かなもてなしの町」の構築、少子高齢化が進む日本社会の中、モデル地域として全国が注目し、だれもが行ってみたい町・住んでみたい町づくりを目指します。

このように、人口の増加する町としてU・イターンの者の定住が可能になるよう、安心して暮らせる環境づくりのため「住宅政策・空家対策」を促進させ整えます。又、子宝の町として次世代を担う子ども達の健やかな成長を願い、児童福祉向上に資するための子育て支援「出産祝金」の支給や共働き家庭の手助け「預かり保育」の実現など、きめ細やかに進めます。

農高跡地問題については、本年4月払い下げに向け、手続き中であり、これと平行して議会が率先し、大島養護学校分校の誘致に向けて動き出し、全部議員大会にも提案、決議するなど大きく前進しました。このことは画期的な事柄であり、伊仙町に明るい夜明けが訪れたと言っても過言ではありません。

農政面においては「農業生産額50億円達成」を目標に農林水産業に加工・販売を融合させた第6次産業の確立、土づくりの推進、基幹作物であるさとうきびの単収向上、畜産の振興は勿論、亜熱帯の気象条件を生かした付加価値の高いマンゴーやたんかん、さらには赤土バレイショ、シヨウガ、ゴマ、南

瓜など高収益性の作物栽培を推奨します。

又、これらに加え徳之島コーヒーやボタンボウフウ（別名長命草）の栽培も育苗から実証栽培へと移行し、軌道に乗ってきました。特にボタンボウフウについては試験出荷にこぎつきました。

平成20年8月にオープンした「徳之島交流ひろばほらい館」も昨年12月には入館者40万人を達成、徳之島全島から多くの方々が来館され、健康増進と交流・憩いや語らいの場、徳之島の新しい南の拠点として盛況になって参りました。

又、直売所「百葉」も地産地消を基軸に、長寿食や無農薬という付加価値の高い農作物を、昨年町内全域において敷設整備された光ファイバー網を駆使し、全国に販売発送する魅力あるスペースとして高い評価を受けています。

更に平成23年度に実施された、直売所甲子園2011では全国から16直売所が選ばれ、決勝戦進出が決定、その中に伊仙町の直売所「百葉」も離島での本格的食の拠点誕生という形で出場するなど、その快挙を成し遂げました。

昨年度実現の運びとなった徳之島地域文化情報発信施設整備事業も道の駅整備（効果促進事業）で進行中の駐車場整備と合わせ、闘牛関係者や徳之島で活躍する若い青年層の意見を集約し、取り入れた実施設計段階から4月の本格的着工に向け諸々の準備を進めているところでございます。

徳之島の代表的な伝統行事「闘牛」や町指定文化財「日手久八月踊り」など特徴的な伝統文化の保存継承を行うとともに、これら今に生きる文化の活用と情報発信を「道の駅」と一体となって整備することにより、徳之島の観光拠点施設として来訪者の地域の回遊や体験型観光など、地域住民との交流を図り、魅力ある観光地の形成を目指します。

今後共、「長寿と子宝の町」「人情豊かなもてなしの町」として更に情報発信し、町勢発展のため、職員一同一丸となつて、全力投球で頑張っていきます。町民の皆様尚一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。私の新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ



伊仙町教育委員会教育長

茂岡 勲

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えられたことと存じます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私こと昨年十月に教育長の職を拝命し、職務の重大さを痛感しつつ本町の教育行政が抱える課題解決に向けて微力ながら取り組んでまいりました。

まず教育は人づくり。全国に通用する学力・体力を持ち、人間性豊かな人づくりが大切であります。次にこの島を愛し、誇り、島の産業である農業を守り育てようとする人材の育成であります。

伊仙町では、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を目指しています。「生きる力」を育む学力向上に向けては、「学力向上アクションプラン」に基づいた毎日の授業の充実こそ原点ととらえ、全小・中学校が指導法の改善と授業実践に取り組んでいます。また、保護者に家庭学習の大切さを理解していただき「60・90運動」の呼びかけと質的改善を図っているところです。

一方、教育環境の整備としては、犬田布中学校の新校舎建設とグラウンド整備が完了、十一月に盛大な新校舎落成式・祝賀会を挙行了しました。また、徳農高跡地の利用についても大島養護学校分校設置の

要望等を含め、町当局・議会・教育委員会が一体となって取り組んでいるところです。小学校五・六年の外国語活動や中学校の英語教育の充実を期して、町独自のALT配置も二年目を迎え、その成果も学力検査等で如実に実証されています。また、「子育て支援」の一環としてスタートした「預かり保育」も二年目を迎え、共働きの親から感謝されています。

スポーツ活動にも目覚ましい活躍があり、スポーツ少年団や中・高校の部活動が、郡大会・県大会においてすばらしい成績を収めています。スポーツを通じた身心の鍛錬は生徒指導上も大事なことであり、文武両道における活動は、日頃から子どもと一緒にやって取り組んでくださる指導者、それを支える保護者のお陰と感謝申し上げます。また、文化活動における活躍も目覚ましいものがあり、県や地区の作文・絵画の審査会で数多くの特選、入選を果たしています。

社会教育においては、県教育行政の基本目標である「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」に努め、伊仙のよき（人・自然・文化）を生かした「自ら学び高める生涯学習」と「地域の教育力の再生」「健康や食育」「伝統文化の継承と後継者育成」の推進に取り組んでまいりました。十一月三日の町文化祭においては、展示や芸能発表の部で伊仙町のもつ底力を感じたものと思います。「地域が育む『いせんっ子』育成プラン」の具体的取り組みとしての「親子チャレンジ教室」は、毎回応募者も多く、今後とも体験活動を通じたプログラムを数多く準備していくつもりです。また、町には多くの文化財があり、その有効活用にも努めてまいります。

新年度に向けては、行事を見直し、改善を加えながら更なる町教育行政の充実発展に向けて教育委員会一丸となって町民の期待に応えられるよう頑張ります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶といたします。

謹賀新年

町長

大久保 明

副町長

中野 幸次

教育長

茂岡 勲

総務課長

稲 隆仁

企画課長

牧 徳久

税務課長

池田 俊博

町民生活課長

鶴永 宏造

保健福祉課長

松田 一郎

経済課長

樺山 誠

建設課長

上木千恵造

耕地球長

大山 秀光

環境課長

益 一男

水道課長

中熊 俊也

会計課長

幸多 健策

議会事務局長

樺山 正二

選挙管理委員会書記長

岩井哲之助

農業委員会事務局長

仲 武美

教育委員会総務課長

窪田 良治

社会教育課長

當 吉郎

給食センター所長

吉見 誠朗

ほーらい館 館長

四本 延宏

保健センター所長

澤 佐和子

他職員一同

文 化 祭 ～ 広げよう・始めよう・学びあい創りあう伊仙町のまちづくり～

11月3日(木)に伊仙町総合体育館において、第34回伊仙町町民文化祭が行われました。開会に先立って、長年に渡り、伊仙町の文化活動に貢献された牧野光雄さん、明石シヅアさん、水本けい子さんが伊仙町文化協会から表彰を受けました。会場内では、絵画や生け花、書道、茶道教室をはじめ、芭蕉布、短歌など、多くの作品が展示され、訪れた人たちの目を楽しませてくれました。文化協会団体による様々な舞台発表なども行われ、公民館講座や各集落で取り組んでいる伝統芸能など、日頃の練習で鍛えた成果を、思う存分発揮することができたようです。



へ き地保育所運動会～かけっこ・お遊戯を披露～

11月5日(土)にへき地保育所園児が、伊仙町総合体育館に集まり、運動会が行われました。かけっこが始まると、泣きだしてしまう園児の姿や、ゴール目指して一生懸命走る園児の姿に、会場からは、大きな歓声と笑い声が響いていました。保護者からは、「小さな子どもたちが、元気に走る姿を見てみると、大人も元気を付けてもらっている気分になれる」といった声が聞かれました。



魚 祭り～島でとれた新鮮な魚が格安で～

伊仙町漁業協同組合が主催する「魚祭り」が11月12日(土)に直売所百菜で行われました。オープニングでは、安田民謡教室の皆さんによる民謡が披露されました。また、島の魚に関する資料展示や、魚を使った料理なども展示されていました。午後2時から、定価の半値ほどで魚が買えるとあって、販売開始時刻前には、多くのお客さんで、長蛇の列ができていました。販売が始まると、我先にと、お目当ての魚を購入するお客さんで、会場は熱気に包まれていました。



T PP 反対集会～断固反対・未来の子ども達のために～

徳之島交流ひろば「ほーらい館」で、TPP 参加反対島民総決起大会が行われました。TPP 参入によって、基幹作物のさとうきびをはじめ、畜産などにも大きな影響が及ぶのではないかと懸念されています。大会当日は、徳之島三町から約2000人の参加があり、今回の問題について、島民の関心の高さを伺い知ることができました。



秋の勲章 ～旭日単光章～

旭日単光章は、社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方を表彰する場合に授与されます。平山榮一氏におかれましては、農業振興に関する功績で、昭和56年7月、選挙により農業委員に選任されて以来、平成20年7月までの9期27年間の長きにわたり在職し、農業・農村の活性化を担い、農業者利益代表機関としての強い使命感を持って地域の農業振興に奉仕し、農家の所得安定に寄与した功績が認められ、今回旭日単光章を授与されました。



駅伝競走大会 ～伊仙校区優勝～

11月13日(日)に第33回伊仙町駅伝競走大会が行われました。今年は、天城町からの参加もあり、8チームで午前10時に喜念浜駐車場入口をスタートし、8区間でタスキリレーを行いました。レース途中から、大粒の雨が降り出しましたが、選手の皆さんは、粘り強くゴールを目指して力走しました。事故やケガなどもなく、全チームが無事に完走を果たし、伊仙校区が大会新記録で総合優勝を果たしました。



百菜 ～直売所甲子園 2011 に出場～

全国各地から選抜された直売所が集まり、「直売所甲子園2011」決勝大会が、東京で開催されました。伊仙町の百菜も予選審査を勝ち抜き、見事決勝の舞台に立ちました。プレゼンテーションでは、これまでの百菜の事例を紹介。今後は地産地消推進の取り組みや6次産業を確立し、百菜独自の特産品開発に取り組むことで、伊仙町の農業生産額50億円達成の手助けとなり、農家の所得向上に繋げていきたいと発表を行いました。



ウォーキング大会 ～爽やかな汗を流しました～

12月4日(日)、第4回徳之島長寿世界一・子宝日本一の里ウォーキング大会が徳之島交流ひろばほーらい館を発着地点に、5キロから15キロの3コースで開催されました。

各コースの名所旧跡では、ボランティアガイドによる説明や唄者による島唄・三味線が披露されました。また、昼食には生活研究グループ連絡協議会・食生活改善推進協議会の皆さんが、昔ながらのカシャおにぎりと豚汁を用意、秋晴れの空の下、雄大な景色とロマンあふれる歴史・文化を存分に味わうことが出来ました。



産業祭 ～がんばろう日本・羽ばたこう伊仙町！ 農業生産額 50 億円を目指して～

11月23日(勤労感謝の日)に徳之島交流ひろば「ほーらい館」で第35回伊仙町産業祭が開催されました。午前中に行われた式典の部では、各分野で活躍された方々への表彰をはじめ、屋嘉比ひろし氏によるコンピューターグラフィック実演や伊仙町出身の実岡寛文教授による「徳之島農業と6次産業化の方向性」～低フィチン大豆の将来性について～と題した講演も行われ、地元の栽培環境にあった農産物を栽培し、地域の優れた食材や食品をより付加価値の高い食にどう仕立てるかが地域活性化の大きな課題であり、多くの農家が参加しやすいシステムを作ることも重要な要素の1つであると述べていました。また、消費者の立場に立って、直売所へ来ることが難しい高齢者に対しては、移動販売などのシステムづくりも大事で、地域コミュニティの形成や地域全体が豊かになるネットワークづくりも重要であると提言がありました。講演後ほーらい館前広場では、「うなぎのつかみ取り大会」や各種イベントなども催され、多くの親子連れで会場は賑わっていました。



産業祭で表彰された皆さんは下記の通りです。

〈受賞者〉

平成23年度 秋の勲章(旭日単光章)	平山 榮一
優秀農業委員	富 紀洋
優秀農業委員	福留 ケイ子
第15回大島地区肉用牛振興大会グランドチャンピオン賞	盛 猛朗
優良農家(複合経営)	貞 均一郎
土砂流出防止対策取組耕作者	富山 路家
土砂流出防止対策取組耕作者	友良 義一

〈徳之島の夢ある農業絵画〉

町長賞	面縄小学校	名古 ののか
教育長賞	阿権小学校	中 夢子
農業協同組合賞	伊仙小学校	川村 芽生
南西糖業賞	伊仙小学校	幸多 美怜
農業共済組合長賞	犬田布小学校	松 美季
奨励賞	喜念小学校	松田 響
奨励賞	糸木名小学校	藤 優花
奨励賞	馬根小学校	四本 大陽
奨励賞	鹿浦小学校	岡本 舞桜
奨励賞	面縄小学校	宮内 美波
学校賞	伊仙小学校	

ほーらい館が厚生労働省認定の 健康増進施設に！



※健康増進施設とは、「健康増進のための有酸素運動を安全かつ適切に行うことができる」施設です(平成23年11月2日付で、運動型健康増進施設に認定)。

ほーらい館では新規入会者を随時募集しています。興味をもった方はお気軽にほーらい館までどうぞ。

電話 0997-86-3319

FAX 0997-86-3219

ホームページ <http://hourai-kan.jp/>

平成23年度宝くじ助成事業の報告



本事業は宝くじの助成金で実施されています。集落自治会の活性化を図るため、集落行事などで使用する備品を整備する事業です。今年度は、下検福集落自治会、阿三集落自治会、河地集落自治会の3集落に各備品が整備されました。



平成24年度保育所園児募集

平成24年度保育所への入所希望者は、2月10日（金）までに、町民生活課で申し込み手続きをして下さい。

【保育所入所基準】

- 1 保護者が、共働き等の理由で保育に欠けること。
- 2 へき地保育所は就学前までで、保育時間は8時30分～17時15分まで。
- 3 幸徳保育園は、就学前までで、保育時間7時～18時50分。
但し、18時～18時50分までは、延長保育（有料）となります。
- 4 わかば保育園は、就学前までで、保育時間は7時30分～18時50分。
但し、18時～18時50分まで延長保育（有料）となります。
- 5 いせん保育園は就学前までで、保育時間は7時30分～18時50分。
但し、18時～18時50分までは、延長保育（有料）となります。
- 6 いせん保育園・幸徳保育園・わかば保育園は、所得状況等により保育料が変わります。

※保育所入所（希望者多数）により、希望の保育所に入所出来ない場合があります。予めご了承下さい。

【お問い合わせ先】 町民生活課 86-3111（内線55）



国民健康保険税係よりのお知らせ

国保税は3月31日までに完納しましょう。国保税が高いと思っている方、家族全員の所得申告はお済みですか。所得申告が終わっていない方は、23年度分がまだ間に合います。印鑑を持って役場へお越しください。

国保税滞納者へ忠告

- 国保税を滞納すると、保険証の発行ができません。
 - 病気やケガの治療費は全額負担となります。
- 滞納のある方は、今すぐに国保係に納付相談しましょう。





平成24年 経済センサス-活動調査

全国すべての事業所及び企業を対象に
平成24年2月1日に実施されます。



皆様のご理解をお願いいたします。

我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的としています。伊仙町内におきましても、各事業所を1月下旬から2月にかけて、調査員が各事業所に伺い、調査票への記入依頼、調査票等の配布・回収を行うことを予定しています。調査で知り得た情報については、統計以外の目的で使用することは強く禁じられていますので、調査結果が税金の徴収などに使われることはありません。調査員が訪問する際には、調査の主旨を御理解の上、御協力いただきますようお願いいたします。

(共通調査事項) 名称及び電話番号、所在地、開設時期、従業者数、売上(収入)金額、営業費用及び費用内訳、主な事業の内容、資本金等の額、決算月等

(産業別調査事項(産業別に調査事項は異なります))

業別売上(収入)金額、生産高、在庫額、販売額、営業時間等

国の教育ローンの御案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

【ご融資額】 学生・生徒一人あたり300万円以内

【利率】 年2.55% (固定金利、平成23年11月10日現在)

(母子家庭の方の利率は年2.15% (固定金利、平成23年11月10日現在))

【ご返済期間】 15年以内 (交通遺児家庭または母子家庭の方については18年以内)

【お使いみち】 入学金、授業料、教科書代、アパート、マンションの敷金・家賃など

【ご返済方法】 毎月元利均等返済 (ボーナス時増額返済も可能)

※東日本大震災により被害を受けた皆さまに「災害特例措置」を実施しています。
ご利用いただける方など、詳しくは、教育ローンコールセンター(0570-008656(ナビダイヤル)または、鹿児島支店(099-224-1241)までお問い合わせください。

20歳になったら国民年金

新成人のみなさん おめでとうございます

20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることになります。

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は「学生納付特例制度」(学生のみ)、「若年者納付猶予制度」(30歳未満)などの保険料免除制度があります。

国民年金(基礎年金)3つのメリット

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1、老後を支えます | 老齢基礎年金 |
| 2、病気やけがで障害の状態になったときに支えます | 障害基礎年金 |
| 3、加入者が亡くなったとき、
子のある配偶者、子を支えます | 遺族基礎年金 |

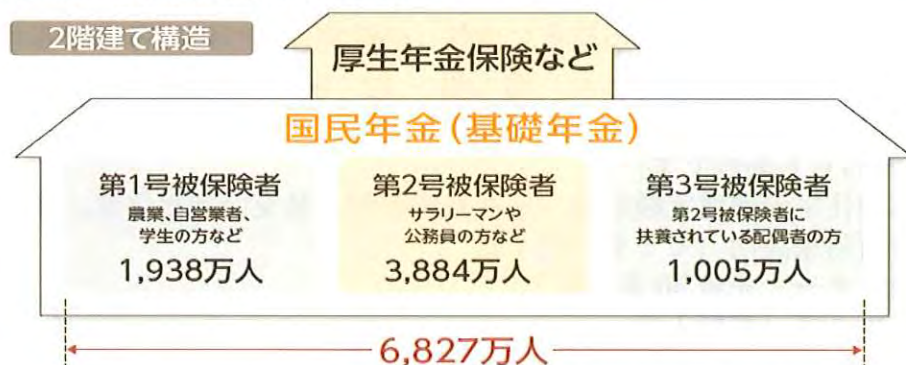
世代と世代の支え合いの仲間入り

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の方の年金を負担するという「世代と世代の支え合い」が基本です。

公的年金制度は2階建て

日本の公的年金制度は、2階建て構造になっています。

公的年金制度の仕組み(平成22年度末)



※ 20歳になった時の国民年金の手続きについては伊仙町役場町民生活課までお問い合わせ下さい。
【問合せ先】町民生活課 年金係 0997-86-3111

伊仙町役場建設課からのお知らせ

『町営住宅 犬田布団地（1号棟・2号棟）』の入居希望者を下記のとおり募集いたします。

- 記
- 1 募集团地名：『犬田布団地』住所：伊仙町犬田布414番地
 - 2 住宅概要：木造2階建（1号棟：2DK4戸、3DK4戸）（2号棟：2DK2戸、3DK4戸）
 ※2DK（1戸当たりの床面積：50.1平方メートル）
 ※3DK（1戸当たりの床面積：60.9平方メートル）
 ※ユニットバス，駐車場
 - 3 募集戸数：8戸×1棟、6戸×1棟 合計14戸
 - 4 家賃：「2DK」18,900円～50,000円/月（収入に応じて変動します。）
 「3DK」23,000円～60,000円/月（収入に応じて変動します。）
 別途：※共益費：約6,000円/月 ※敷金：家賃の3ヵ月分
 - 5 募集期間：平成24年1月16日～平成24年1月31日迄
 - 6 申込方法：伊仙町役場建設課に「入居申込（犬田布団地用）」の申請をして下さい。
 「入居申込書（犬田布団地用）」は、建設課にて入手して下さい。
 - 7 入居資格：一般世帯（単身者は除く）で町税金等の滞納がない方。
 - 8 選考方法：審査会にて収入基準等の入居資格審査のうえ、抽選により決定します。
 ※入居者選考委員会で優先入居者が生じた場合等、抽選戸数が変更になる事が有ります。
 ※抽選対象者には、事前に連絡いたします。
 - 9 抽選時期：平成24年3月初旬
 - 10 入居時期：平成24年4月1日（予定）

【問い合わせ先】：伊仙町役場 建設課住宅係 TEL：86-3111（内線 44）

徳之島3町木造住宅のセミナー及び耐震診断のお知らせ

鹿児島県、徳之島3町、（社）鹿児島県建築士会大島支部による木造住宅の耐震診断とセミナーを開催いたします。この機会にお住いの耐震性について考えてみませんか。

- 開催日時 平成24年2月29日（水）10：30～12：00
 開催場所 大島支庁徳之島事務所 大会議室
 プログラム （どちらも無料です）
 セミナー 木造住宅の倒壊実験映像、地震被害事例、筋交い効果学習、簡易診断
 耐震診断 診断結果説明（セミナー終了後）
 定員 セミナー 先着50名程度
 耐震診断 先着3名（各町1名）

【申込方法】

伊仙町役場建設課（担当：前元・伊藤）まで、電話にて住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。

0997-86-3111

耐震診断を希望されるには、壁・筋交い等の位置がわかる平面図（間取り図）が必要です。

入札参加資格申請のお知らせ

『平成 24・25 年度建設工事入札参加資格申請』を下記のとおり受け付けます。

※町内業者においては、『平成 24 年度建設工事入札参加資格申請』等となります。

記

● 提出書類（建設工事について）

- 1 建設工事入札参加資格審査申請書
- 2 建設業許可通知書の写し
- 3 建設業許可申請書の写し
- 4 経営規模等評価・結果通知書の写し
- 5 直前 2 年の各事業年度における工事経歴書
- 6 町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
- 7 消費税及び地方消費税納税証明書の写し
- 8 労働保険料（労災保険）納入証明書の写し
- 9 退職金共済組合加入契約証明書の写し
- 10 雇用保険料納入証明書の写し
- 11 使用印鑑届
- 12 その他（ボランティア証明書の写し 等）



● 提出書類（物品について）

- 1 入札参加資格審査申請書
- 2 営業概要書
- 3 納税証明書
- 4 徴税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）

● 測量、建設コンサルタント、地質調査等については、国土交通省の統一様式で提出してください。

◎ 提出部数：各 1 部

◎ 受付期間：平成 24 年 1 月 5 日～平成 24 年 3 月 31 日迄

※ 注意事項

- 1 書類不備の場合は受け付けできません。早めに申請し、確認を受けてください。なお町内の新規業者を除き、上記受付期間を過ぎると受け付けできません。
- 2 提出書類は、提出書類の一覧表を最上段にし、上記の各様式番号順にインデックスを付けA4判のファイルに綴じ、表紙及び背表紙に入札参加資格審査申請書」及び「会社名」を記入してください。また、複数の業種を申請する場合は、業種ごとに提出してください。
- 3 申請年度内に許可（建設業許可）の期限が切れる場合は、すみやかに新許可書入手し提出してください。
- 4 町外業者については、2 年毎、町内業者については毎年の更新をお願いします。

【問合せ先】 伊仙町役場 建設課 TEL：0997-86-3111



(3歳2ヵ月)

A circular portrait of two young children, a boy and a girl, looking directly at the camera. The boy is on the left, wearing a purple shirt, and the girl is on the right, wearing a black and white shirt. They are both looking directly at the camera with neutral expressions. The background is slightly blurred, showing some outdoor elements.

(4歳7ヶ月)

(4歳1ヶ月)



(4 歲)

いつも明るく大きな声を出して、元氣一杯にお兄ちゃんと妹と遊び回っている海伸君。いつまでも元氣一杯わんぱく海伸でいてね。

総人口 = 7,236	出生 = 5
男 = 3,624	死亡 = 8
女 = 3,612	転入 = 15
世帯 = 3,599	転出 = 15

戸籍の窓

ご結婚おめでとう
(敬略称)

出生児
保護者
集落名

中川 典久
伊仙

出生地 保護者 集落名

大江	捺稀	珠莉	荻田	加藤	作岡	壽山	壽山	友良	中原	中原	美島
来愛	瑠唯	芽唯	優月	りあむ	仁愛	小徹	琉輝	吉仁	昌幸	卓	恭平
誠	優司	誠	恭平	卓	昌幸	吉仁	貴弘	広次	誠治	誠治	拓也
伊仙	犬田布	木之香	喜念	佐弁	伊仙	検福	面縄	喜念	喜念	河地	
中川	白井	松岡	古畑	拓海	犬田布	鹿兒島市	伊仙	大阪市			
典久	雅子	かおり									



香典返し

※ 社会福祉協議会受付

○喜念	川田 清 史さん	(亡川田 マスエさん)	より金一封
○挨拶	里井 治 子さん	(亡里井 源 正さん)	より金一封
○崎原	町田 均 さん	(亡町田 テイさん)	より金一封
○小島	盛 ハツエさん	(亡盛 茂 明さん)	より金一封
○古里	稲村 文 子さん	(亡稲村 武 二さん)	より金一封